

生徒支援便り

古河市立三和中学校
令和6年6月25日発行

～ 梅雨に入りました ～

今年は、例年より少し遅い梅雨入りとなり、天気不安定な日が続いています。校内では、換気しながらもエアコンや扇風機を使用したり、水分補給の呼びかけや衣類での調節を促したりしているところです。今後、ますます熱中症の心配が予想されますので、授業内はもちろん、部活動時や登下校時などにも注意を呼びかけていきます。

さて、1学期も終わりにさしかかり、友人関係で悩む声が聞こえるようになってきました。大人向けのある冊子の中に“人間関係”について載っていたので紹介したいと思います。大人でも人間関係で悩むものです。中学生ならなおさらです。何か参考になれば嬉しいです。

1 早く気づいて！ こころの黄信号

(1) 人間関係で困っている？チェックポイント

- 周囲の人と意見のくい違いがある
- 「うまが合わない」と感じる相手がいる
- 学校や家庭の雰囲気は友好的とはいえないなど

人間関係を円滑にするには、コミュニケーションが大切です。無益なストレスを生まないためにも、互いを尊重し合うコミュニケーション法を身につけましょう。

(2) 円滑な人間関係を築くには？

① あいさつを徹底しましょう

「おはようございます」「お疲れさま」などのあいさつを交わすことは、人間関係の潤滑油です。たった一言の声かけが、場の雰囲気を和らげ会話のきっかけにもなります。もし相手が答えてくれなくても気にせず続けましょう。

明るく元気なあいさつは、こころの扉を開く魔法の言葉です。



② 互いの理解を深めるために

メールやSNSは、便利なコミュニケーション手段ですが、一方通行になりやすく誤解やくい違いを招きます。言葉のやり取りだけでなく、相手の表情を読み取ることもコミュニケーションには欠かせません。

円滑な人間関係を築くには、互いに理解を深め合うことが重要となります。



(3) 互いを尊重し合うコミュニケーション法とは？

相手の言い分を無視して自己主張すれば、対立関係を招いてしまいます。しかし、衝突を恐れて自分の気持ちや意見を抑え込んでしまうと、不満がつのりストレスを増加させます。自己主張することは決して悪いことではありません。相手の考えを尊重しながら、自分の意見を誠実に、率直に伝えるコミュニケーション法を身につけましょう。

① 上手な「No」の伝え方

遊びに誘われたけれど用事があるので断りたいとき、「その日は無理」「行けない」などと結論だけを伝えると、相手の印象を悪くします。断りにくい相手に、「No」の気持ちを伝えるには、まずは自分の気持ちを述べ、事実を正直に伝え、可能なら代案を示すことでよい結果が得られます。



2 自転車保険加入について

先日、自転車保険加入状況の調査を行いました。ご回答いただき、ありがとうございました。未加入の方は、これを機に加入の検討をお願いいたします。高額賠償事例がありますので、ご紹介いたします。

【事例1】

9,521万円（神戸地方裁判所、平成25年7月4日判決）

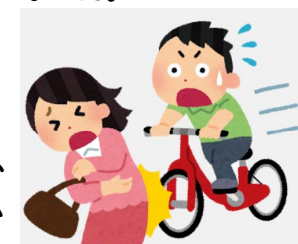
11歳の男児（小学5年生）が夜、自転車で走行していたところ、歩道と車道の区別のない道路において歩行していた62歳の女性と正面衝突した。その女性は、頭の骨を折るなどし、意識が戻らない状態となったもの。

この判決が裁判所から出たとき、子供が起こした事故に高額な賠償が命じられたことや、保護者である母親に対する支払い命令であることが大きく報じられ話題になった。

【事例2】

9,266万円（東京地方裁判所、平成20年6月5日判決）

男子高校生が昼間の時間帯に、自転車横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断していたところ、対向車線を自転車で直進していた24歳の男性会社員に衝突した。衝突をされた男性会社員には言語機能の喪失などの重大な障害が残った。



中学生のみなさんも、自分が加害者になる場合があることも考え、スマホのながら運転や、ものを食べながら飲みながら運転など危険な運転はしないように気を付けましょう。